

① 愛語といふは、衆生をみるにまづ慈愛の心をおこし、顧愛の言語をほどこすなり。おほよそ暴悪の言語なきなり。世俗には安否をとふ礼儀あり、仏道には珍重のことばあり、不審の孝行あり。慈念衆生、猶如赤子のおもひをたくはへて言語するは愛語なり。徳あるはほむべし、徳なきはあはれむべし。愛語をこのむよりは、やうやく愛語を増長するなり。しかあれば、ひごろしられずみえざる愛語も現前するなり。現在の身命の存ぜらんあひだ、このんで愛語すべし、世々生々にも不退転ならん。怨敵を降伏し、君子を和睦ならしむること、愛語を根本とするなり。

むかひて愛語をきくは、おもてをよろこばしめ、こゝろをたのしくす。むかはずして愛語をきくは、肝に銘じ、魂に銘ず。しるべし、愛語は愛心よりおこる、愛心は慈心を種子とせり。愛語よく廻天のちからあることを学すべきなり、たゞ能を賞するのみにあらず。

② 良寛さまの戒語

ことばの多き

ことばのたがう

よく心得ぬことを、人に教うる

人のかくすことを、あからさまに言う

憎き心を持ちて、人を叱る。

悪しきと知りながら、言い通す。

下僕をつかうに、言葉のあらき

いやしきおどけ

学者くさき話

てがらばなし

くれてのち、人に語る。

しめやかなる座にて、心なくもの言う。

客の前にて、人を叱る。

人の器量のありなしを言う。

いやしき人を、かろしめる。

このんで唐言葉をつかう。

悟りくさき話

酒に酔いてことわり（理屈）をいう。

③

ひとつのことば

一つのことばで喧嘩して

一つのことばにおじぎして

一つのことばはそれぞれに

みんなで言おうありがとう

一つのことばで仲なおり

一つのことばに泣かされた

一つの心をもっている。

# 愛語

愛語ト云ハ衆生ヲ見ルニマヅ慈  
愛ノ心ヲオコシ顧愛ノ言語ヲホ  
トゴスナリホヨソ暴惡ノ言語ナキナリ  
世俗ニハ安否ヲトフ礼儀アリ佛道  
道ニハ珍重ノコトバアリ不審ソ孝行  
アリ慈念衆生衆猶如赤子ノオモヒ  
ヲタクハハテ言語スルハ愛語ナリ徳ア  
ルハホムベシ徳ナキハアハレムベシ愛語ヲ  
コノムヨリハヤウヤク愛語ヲ增長スル  
ナリレカアレバヒゴロシラレズミヘガル愛  
語モ現前スルナリ現在ノ身命ノ存  
スルアヒダコノンデ愛語スベシ世ニ  
生ミニモ不退轉ナラン慈悲敵ヲ降伏  
シ君子ヲ和睦ナラレムコト愛語ヲ  
本トスルナリ向テ愛語ヲキクハヲモテヲ  
ヨロコバシメコノロヲ樂シグス向カハズシテ  
愛語ヲキクハ肝ニ銘ビ魂ニ銘スル  
ベシ愛語ハ愛心ヨリナコル愛心ハ慈  
心ヲ種子トセリ愛語ヨク思ハズ

世俗ニハ安否ヲトフ礼儀アリ佛道  
道ニハ珍重ノコトバアリ不審<sup>シ</sup>ソ孝行  
アリ慈念衆生衆猶如赤子ノオモヒ  
ヲタクハハテ言語スルハ愛語ナリ徳ア  
ルハホムベシ徳ナキハアハムベシ愛語ヲ  
コノムヨリハヤウヤク愛語ヲ増長スル  
ナリレカアレバヒゴロシラズミヘガル愛  
語モ現前スルナリ現在ノ身命ノ存  
スルアヒダコノンテ愛語スベシ世ニ  
生ミニモ不退轉ナラン怨敵ヲ降伏  
シ君子ヲ和睦ナラシムルコト愛語ヲ  
本トスルナリ向テ愛語ヲキリハヲモテヲ  
ヨロコバシムコトヲ樂シクス向カハズシテ  
愛語ヲキクハ肝ニ銘ジ魂ニ銘ズシル  
ベシ愛語ハ愛心ヨリナコル愛心ハ慈  
心ヲ種子トセリ愛語ヨク廻<sup>マ</sup>天ノカラ  
アルコトヲ學子スベキナリタバ<sup>ハカ</sup>能<sup>ビ</sup>ヲ賞ハス  
ルノミニアラズ